

隠岐島前高校だより

島前高校魅力化

島前高校の魅力化構想案



島前高校魅力化の協議の様子

昨年12月9日に黒木公民館において島前高校魅力化の会が開催されました。

この会までに国や県、高校教員、地域などとの協議や意見交換などをしてきました。特に、三町村それぞれを会場に、この構想案について、保護者・地域の皆様との意見交換会を開催し、沢山の貴重なご意見を伺いました。

また、予算措置が必要なものについては費用を試算した



諏訪会館（中里公民館）での意見交換会の様子

り、町村の総務・財政との相談を重ねたりしてきました。

そして、実現が可能なのかどうかWGで協議し、提案を精選しました。

提案された構想案は会の中で大筋で承認され、今後はそれぞれの提案の実現に向けて事務局を中心に動き始めていきます。以下、承認されたそれぞれの魅力化の取り組みについて、現在の動きと今後の見込みについて下記のとおりお知らせします。

島前高校魅力化構想案

現在の動き、

そして今後の見込み、

魅力的なカリキュラム編成

教員数の確保

▼今年度末までに2コース制のカリキュラムの試案を作成し、県へ提言していく。2コース制とともにそれに見合った教員数の確保を継続要求していく。

▼4月から事務スタッフを高校に配置し、教員の事務業務を補助する。

学力向上と

キャリア教育充実

▼学校教育を補完する役割として、海士町が学習支援コーディネーターを採用し、学校外での学習指導（小・高対象）を進める。

▼学校外での学習指導が軌道に乗れば、小・高校とコーディネーターとの連携・支援体制を検討し、実践していく。

寮の活用

▼寮を管理委託するという前例がなく、県としては、現段階では無償貸付なら委託ができるという回答。その場合、委託を受ける側に多大な金銭的負担が生じるため、H21は現行のまま運営。H21中に県や国との交渉を進める。

部活動の充実

▼海士町の遠征補助事業（新人戦から適用）を来年度も継続して活用する。

地域との連携・

地域人材の活用

交流の促進

▼新しいカリキュラムが確定後、新しい推進体制の中で検討していく。

島外PR活動の充実

▼HPを高校教員・魅力化事務局が中心になり、3学期、

H21・1学期中に完成予定。

島内PR活動の充実

▼三町村の町報に島前高校の記事を掲載。島前高校だよりを回覧板で回覧する。

保護者の負担軽減

▼（しくみや集金方法等の検討後）4月から希望者に対して寮の弁当を提供する。
▼内航船無料化は難しいが、現行の料金を据え置くことを三町村に継続依頼する。

※隠岐島前高等学校の魅力化と永遠の発展の会事務局
TEL②—0731
FAX②—0035

